

授業科目名	【G】 教職論	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)							
サブタイトル	教職を取り巻く現状と課題			担当者	小松 伸之			
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学・高等学校教諭)経験を活かした授業】 中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 新学習指導要領の施行、コロナ禍への対応、ICT化の推進、多様な児童・生徒への対応など、学校現場を取り巻く現状は変化が大きく、教員への期待は高まるばかりである。このように複雑化が進む現状において、教職にはどのような役割が期待され、教員にはどのような資質能力が求められるのだろうか。さまざまな視点から学校や教員について考えていくことで、学校現場への理解を深めるとともに、教職に関わる自分の考え方(教職観)を磨くことをねらいとする。そのために、授業は講義とグループワークによる話し合いを組み合わせ実施する。また、学校現場の先生をゲストティーチャーとして招き、学校現場の実態について伺い、質疑を通して教職への理解を深めていく予定である。</p>						
	【到達目標】	<p>① 学校教育をめぐる現状を学ぶことを通して、教職の意義と教員に求められる資質能力についての理解を深める。 ② 教育法規の学習を通して、教員の身分と義務について理解する。 ③ 学校現場が抱える課題との改善策を学ぶことを通して、自身の教職観を磨くことができる。</p>						
履修条件	「教育原理」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	教育原理							
教科書	授業時に適宜プリントを配布する							
参考書	久保富三夫・砂田信夫編著『教職論』(新しい教職教育講座 教職教育編②)ミネルヴァ書房 諸富祥彦『教師の資質』朝日新書							
評価方法	試験(35%)、レポート及び課題(35%)、毎時のワークシート(30%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。							
フィードバック方法	授業時のコメント、課題やレポートへのコメント							
評価基準	授業内容についてよく理解して話し合いに積極的に参加できた者には「S」または「A」を与える。内容理解や話し合いの姿勢に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業に取り組む姿勢が著しく消極的な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。また、6回以上欠席するなど判定不能な者は「F」とする。							

授業科目名	【G】 教職論	区分		【G】1	単位数	【G】2
			開講年次			
授業回数	授業内容					
1	教員の役割と仕事 予習： 教育経験の振り返り 復習： 授業内容についての復習					
2	現在求められる教員の資質能力 予習： 教員の仕事と資質能力の関係を考える 復習： 授業内容についての復習					
3	現代社会における教職の意義 予習： 教職の意義について考える 復習： 授業内容についての復習					
4	進路選択としての教職 予習： 自身の進路について考える 復習： 授業内容についての復習					
5	教員の職務①(教科指導) 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
6	教員の職務②(教科外指導) 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
7	教員の職務③(部活動指導をめぐる現状) 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
8	日本国憲法及び教育基本法における「教育」、学校教育法における「学校」 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
9	教育職員免許法、地方公務員法及び教育公務員特例法 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
10	学び続ける教員(養成・採用・研修) 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
11	私立学校とは、私立学校の教員の位置 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
12	学校現場の実態と諸課題 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
13	「教員の働き方改革」の動向 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
14	チームとしての学校 予習： プリントの読解 復習： 授業内容についての復習					
15	学習到達度の確認、総括(教職を取り巻く現状と課題) 予習： 授業内容についての総復習 復習： 理解が不十分な点についての確認					
その他	授業ごとの予習・復習時間は各120分程度を目安とする。					